

福島県立いわき総合高等学校

JRCインターアクト部

高校生ボランティア・アワード2024

「震災と復興」のその先へ ALPS処理水放出後の浜通りと「常磐もの」

知って！食べて！ふくしまの魅力発信

エピソード(1) 【きっかけは、アワード全国大会】

「ALPS処理水のことについて、うまく説明できなかった。」メンバーの一人がつぶやきました。「私たちがもっとよく調べて、全国の人にその安全性を知ってもらいたい。」これが今年の目標となりました。昨年のボランティアアワード全国大会の前と後で状況が変わったのは、実際に「ALPS処理水」が放出されたことです。私たちは、ALPS処理水の安全性をもう一度確認し、そのうえで、安心して浜通りの魚（通称「常磐もの」）を食べていただきたいと思い、探究活動を継続しました。



出典：いわき常磐もの公式サイト
joban-mono.jp

エピソード(2) 【新たなメンバーを加え、探究学習開始】

新入部員7名とともに、今年の探究テーマについての話し合いが始まりました。1年生は2・3年生についていこうと必死です。上級生がリードし、探究学習の手順や役割分担、調査内容の確認、情報の集め方などを教えあいました。私たちは「解のない問い」に向き合うことが大好きです。自由な発想で意見交換をし、きずなを深めました。



5月23日の中間発表には、いわき内郷ロータリークラブの方が来校し、参観、助言をしていただきました。今年はロータリークラブとの連携がふえそうです☆

エピソード(3) 【ふくしま浜通りの課題と取組を発信】

福島県の復興のためには、廃炉に向けた取組が前提となります。その過程で排出されるALPS処理水は避けては通れない課題であり、2023年8月24日、海洋放出が開始されました。トリチウム以外の放射性物質を国の基準以下に取り除いており、かつトリチウムは国の安全基準をはるかに下回る濃度まで薄めて排出しています。その安全性の情報発信こそが、地元の人たちにできる復興だと考えました。

- 今年度の研修予定(研修日)
- ★福島県水産海洋研究センター(6/13)
- ★魚介類の安全・安心講座
- ★東京電力(6/20)
- ★ALPS処理水放出と安全性
- ★福島県水産事務所(6/27)
- ★福島県の漁業について

地域との連携を実現します

エピソード(4) 【安心・安全な「常磐もの」の普及】

「常磐もの」とは、親潮と黒潮が交わる常磐沖で取れる魚類のことです。黒潮のこった魚たちが、親潮の豊富なプランクトンを求めて常磐沖で繁殖します。いわきでは、水揚げだけでなく、加工し、常磐ものとして販売することにも力を入れています。「魚の調理？難しそう」というのは一般的な感想だと思います。そこで、私たちは、地元の人たちからヒントをもらい、高校生でもできる簡単レシピを考えて「常磐もの」の普及に挑戦しようと考えています。



出典：いわきの産品 iwakinopin.com



ふくしま・浜通りの「元気」を届けたい！

SEA WAVE 「76.2MHz FMいわき」 「はまスク☆浜通りスクールラジオ」 (4月23日・30日出演)

昨年10月に行われた第2530地区国際ロータリー事務局主催「ロータリークラブ・キャラクターデザインコンテスト」で「最優秀賞(べこたん)」と「優秀賞(こけたん)」のW受賞をしました。ラジオでは、学校生活や部活動の内容(4/23放送)、コンテスト応募のきっかけや作品制作の様子(4/30放送)を話しました。いずれの作品も「福島県の一体感」をキャラクターに表しました。福島県のロータリークラブを代表するマスコットキャラクターとしてきくみや伍バッチ、クリアファイルなどのグッズになって登場する予定です！どうぞ楽しみに。



福島県住みます芸人ベンギンナツさん(前列)「はまスク☆」のDJです

- ★受賞★
いわき総合高校
JRCインターアクト部
- 最優秀賞:べこたん
2年藤遥菜、1年油座光咲
1年草野侑南
- 優秀賞:こけたん
1年大栗流美
- 参加:フラのぐち など数点



FMいわきでの放送は下のQRコードを読み取ってください(Youtuべにつなぐります)

4/23放送分 4/30放送分

極めよう！私たちの「やってみよう」を、一緒に

いろいろなことにチャレンジすることは最初はとっても勇気がいるけど仲間と一緒にやると同じ目標を持っていることがチーム力の決め手です

第1位 第15回いわきサンシャインマラソンボランティア

- ・実施日 R6.2.2.25
- ・場所:いわき市小名浜
- ・活動内容:マラソンランナーの手荷物預かり返却



小さいころからなじみのある地域の大きなイベントでたくさんの参加者のサポートができた

①サンシャインマラソン



With いわき市役所
東日本国際大学
いわき光洋高校

②ライオンカフェ



With 風立つライオン基金
いわき市社会福祉協議会
内郷地区自治会

第2位 ライオンカフェ

- ・実施日 R5.12.2
- ・場所:いわき市内(白水町・内町)
- ・活動内容:台風13号の被害が甚大であった地域の公民館にてコーヒーマシンの提供、住民と交流



被災した方々の心の支えになることができた

地域の人々が安心して心が和らぐように交流することができた

第3位 スポGOMI甲子園福島県大会

- ・実施日 R5.10.14
- ・場所:郡山市駅前
- ・活動内容:3人1組になり、決められたエリア内で1時間以内にどれだけのゴミを拾えるかの競技



郡山会場だったが、大会を機にいわきの海ごみ問題により関心が高まった

いわき市内外の高校生との交流もあり楽しみながら町をきれいにできた

③スポGOMI甲子園



With 福島中央テレビ
海と日本プロジェクト
福島県内の高校生

④校外清掃



With いわき総合高校
生徒会・家庭クラブ

第4位 校外清掃

- ・実施日 R5.6.5/7.1/9.23/11.30
- ・場所:いわき市内(薄磯海岸・いわき駅など)
- ・活動内容:海岸、駅前、学校周辺などのごみ拾い



ゴミを拾って街がきれいになっていくのが嬉しかった

海岸を清掃することで、観光客が海で快く遊べる場を作ることができた

R5年度「やってもよかった」活動ベスト4 (いわき総合高校JRCインターアクト部員調べ)

「ひとつ、ひとつ、つなぐ未来へ」

【3年部長:あやせから後輩たちへ】
いわきでは高校を卒業すると、たくさんの人が地元を離れます。私たちが伝えなければ伝わらない、ふくしま浜通りの魅力と課題。ボランティア活動は楽しいだけではなかつたけど、私たちが地域でやってきたことはすべて「宝」です。JRCインターアクト部の後輩へ、つなごう。誰かのために時間を使うことで味わえる、あの達成感と充実感。知らず知らず身につく自信！卒業までに何度でも一緒に活動してつないでいきたい。いわき総合JRCインターアクト部



Service Friendship Fun
That's Our Spirit.

歴代部長

- H30部長:まなみ 現・看護師
- R1部長:みさき 現・看護師
- R2部長:ななみ 現・子ども教育学部3年
- R3部長:こはる 現・看護学部2年
- R4部長:はるな 現3年生
- R5部長:あやせ 現3年生
- R6部長:みさき 現2年生



福島県立いわき総合高等学校 JRCインターアクト部

福島県内のインターアクトクラブでは11番目に加盟、創部19年目のクラブで「社会奉仕と地域貢献」を活動の中心にしています。現在、3年生女子6名、2年生女子7名、2年生男子2名、1年生女子4名、1年生男子3名の合計22名が所属しています。昨年初参加したボランティアアワードは、私たちが変化を大きくきっかけとなりました。地方の小さな高校でコツコツとやってきたことが、いわき市の皆さんだけでなく全国の仲間にも知ってもらえる機会となり「いわき総合のインターアクト」が少しずつ知られるようになりました。様々な活動を通して「つながりときずな」を実感しつつあります。今年もフレッシュな1年生、やる気に満ちた2年生、ボランティア経験豊富な3年生のチームワークで地域の課題に向かい、私たちにできることを楽しく行っていきます。